2023.1.30 ふれあい懇談会（見附町部西地区）

「暮らし満足No.1のまち」を目指して

～令和4年度見附市の取り組み～

見附市長　稲田　亮

自己紹介

出 身　見附市本所（見附小▶見附中▶長岡高校卒業）

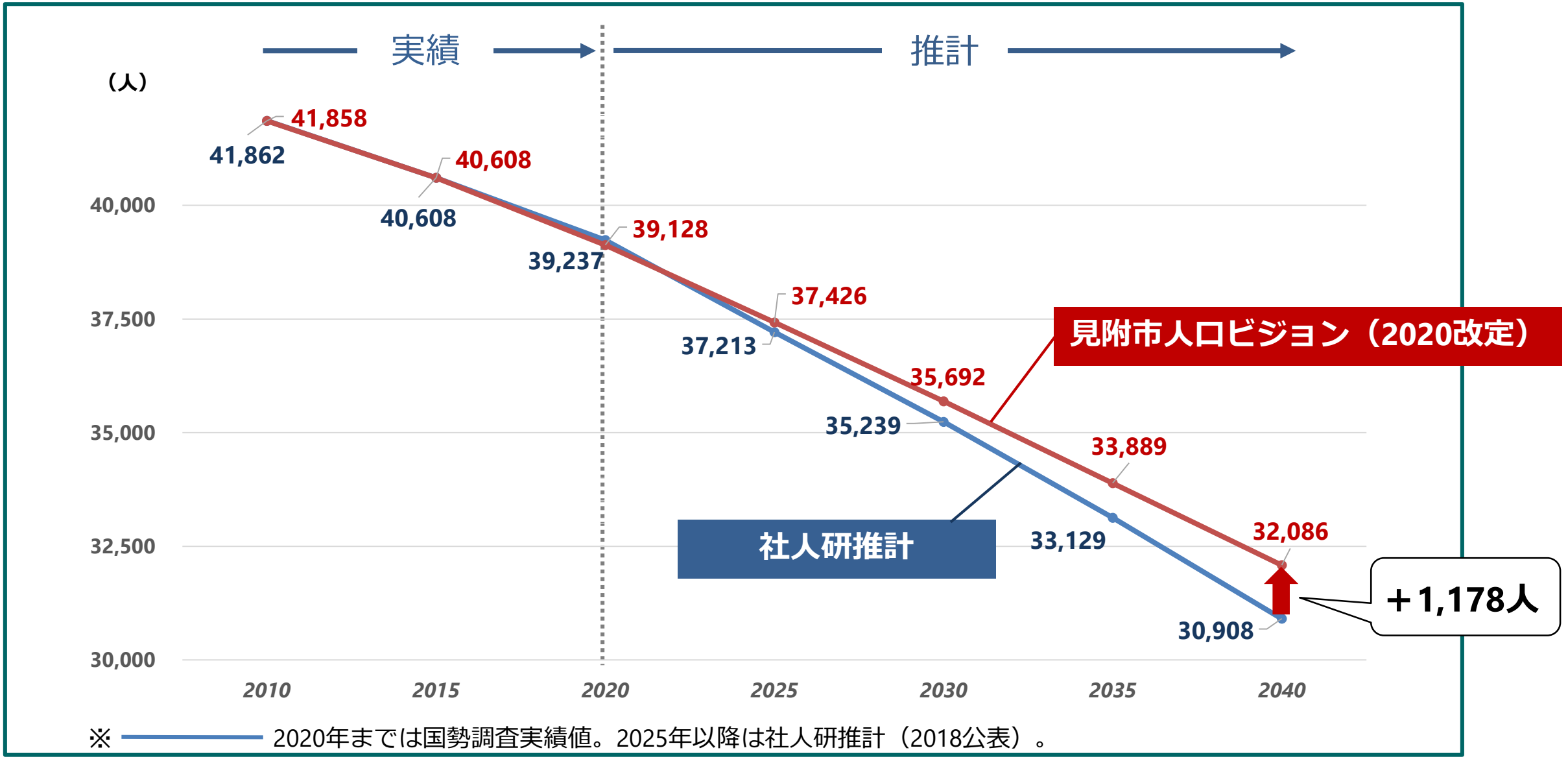
経 歴

- H7.3　新潟大学大学院工学研究科 修了
- H7.4　運輸省（現国土交通省）入省
  - 在ブラジル大使館書記官
  - 九州地方整備局大分河川国道事務所長
  - 大分県中津市副市長
  - 鉄道局国際協力室長
  - 港湾局クルーズ振興室長　など
- R3.7　国土交通省退官
- R3.12 見附市長 就任

▲支援先のインディオ原住民とともに
（在ブラジル大使館書記官）

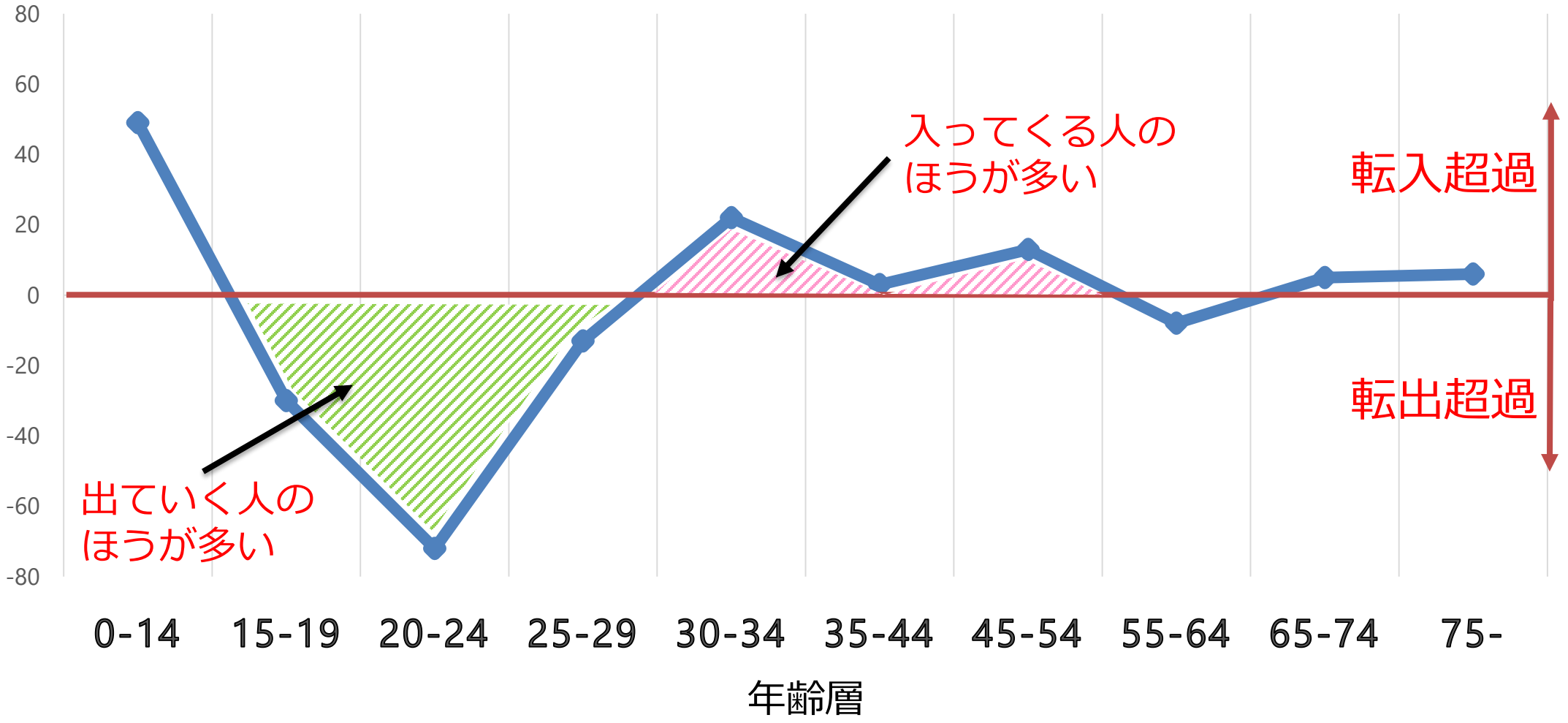
▲市民座談会にて
（中津市副市長）

見附市の人口の推計と目標



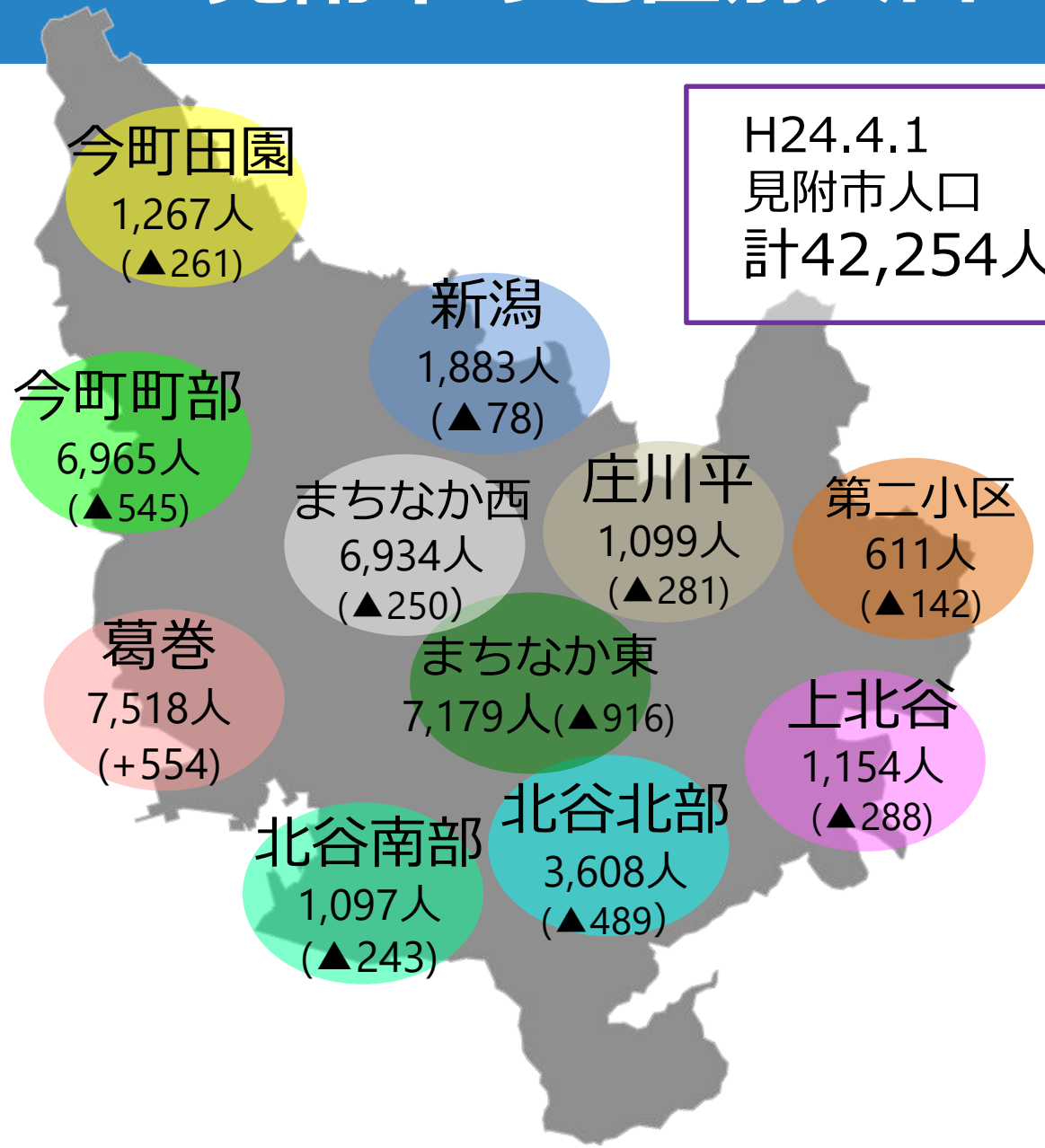
※ ——— 2020年までは国勢調査実績値。2025年以降は社人研推計（2018公表）。

見附市の年齢階層別の人口移動状況



※令和3年新潟県人口移動調査より（2020年10月～2021年9月の見附市の人口移動の状況）

見附市の地区別人口



H24.4.1
見附市人口
計42,254人

10年

▲2,939

R4.4.1
見附市人口
計39,315人

（　）内は10年前との増減

令和4年度 見附市の取り組み

「暮らし満足No.1のまち」を目指して

第5次総合計画後期基本計画
「3つの方向性」

力を入れて取り組みたい
「7つの柱」

① まちと産業を元気にする
② こどもと子育てを支える
③ 健幸づくりを支える
④ 暮らしの安心・安全を確保する
⑤ 市民の皆様に寄り添う
⑥ あらゆる力を結集する
⑦ 行財政を検証し必要に応じ見直す

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

✓ 新型コロナ禍や物価高騰をふまえた経済活動や生活の維持支援
✓ 世の中の変化に対応した新たなチャレンジや魅力の創造を応援
✓ 見附に住み続けたい、働きたい、戻りたいニーズに応える

新型コロナの影響を受ける地域経済への支援

▶ プレミアム付商品券・飲食店向けクーポンの発行 (3月～)
▶ タクシーの深夜運行への支援 (7月～)

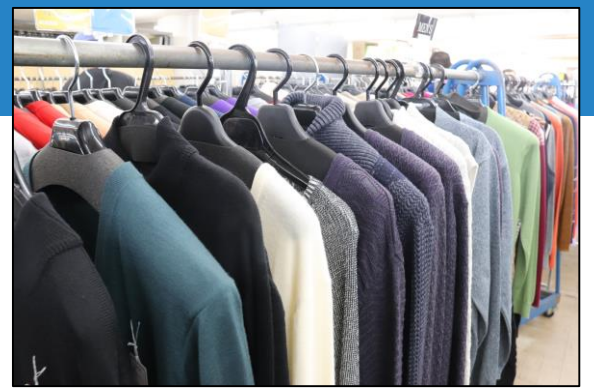
物価高騰をふまえた市民・事業者への支援(9月補正)

▶ 1人3,000円分の商品券を出産予定の赤ちゃん含め配布
▶ 農業経営者や法人に対する事業継続支援
▶ 運送業者(トラック、貸切バス、タクシー)に対する事業継続支援

その他の支援(9月補正)

▶ ニット会社の火災に対する産地復旧に向けた支援

7つの柱 ①まちと産業を元気にする



地場産業の活性化

- ▶ 「MITSUKE KNIT」ブランド拡大支援
- ▶ 新たな取組チャレンジ事業者応援補助金
  対象業種の拡大、県の補助採択を受けた事業へ上乗せして補助
- ▶ 空き店舗への出店促進、イベント開催支援
- ▶ 農業の活性化 ～「にら1億円産地化」に向けた支援
- ▶ 交流人口の増加へ ～ ツアー、大会の誘致活動など

移住・定住の促進

- ▶ 移住定住支援サイトによる情報発信や
  「見附さぽーた」制度などの つながりを強化し U・Iターンを促進

一段上の取り組みを推進するため「**地域力創造アドバイザー**」を導入

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

✓「選ばれるまち」に向けた最大のターゲットである子育て世代に向けたアプローチの重要性

✓子どもの居場所や子育て環境、教育の充実をはかり、「子育てするならやっぱり見附」と言われるまちへ

子どもの居場所整備

▶ 旧商業施設をリノベーションし、天候に左右されず子どもが身体を動かせる屋内施設を整備

R5年度開所予定
小学校高学年をメインターゲットに、子ども同士で自発的に育ちあう場として構想

◀イメージ

子どもや保護者を交えた▶
施設の活用検討ワークショップを実施

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

子育て支援施策の充実

▶ 需要の高い葛巻小学校区に放課後児童クラブを新設

病児・病後児保育等の利用支援

▶ 民間保育園での病児・病後児保育室の開設に伴う利用補助創設

中学生のスポーツ・文化活動の選択肢確保に向けた取り組み

▶ 部活動の段階的な地域移行を見据え検討を開始

学校施設長寿命化

▶ 名木野小学校の長寿命化（基本設計）、田井小学校の改修工事

不妊治療への助成

▶ 保険適用に伴い、対象治療の範囲を拡大・助成回数を拡充

7つの柱 ③健幸づくりを支える

✓ 地域医療の維持・充実をはかり、高齢者や障がい者など
誰一人取り残されることのない社会へ
✓ 「スマートウエルネスみつけ」の継承発展

地域医療体制の充実 ―開業医の積極的誘致―

▶ 不足している、あるいは将来ニーズが高まる診療科目を対象として
新規開設に対する補助を上乗せし、開業医の積極的な誘致を展開

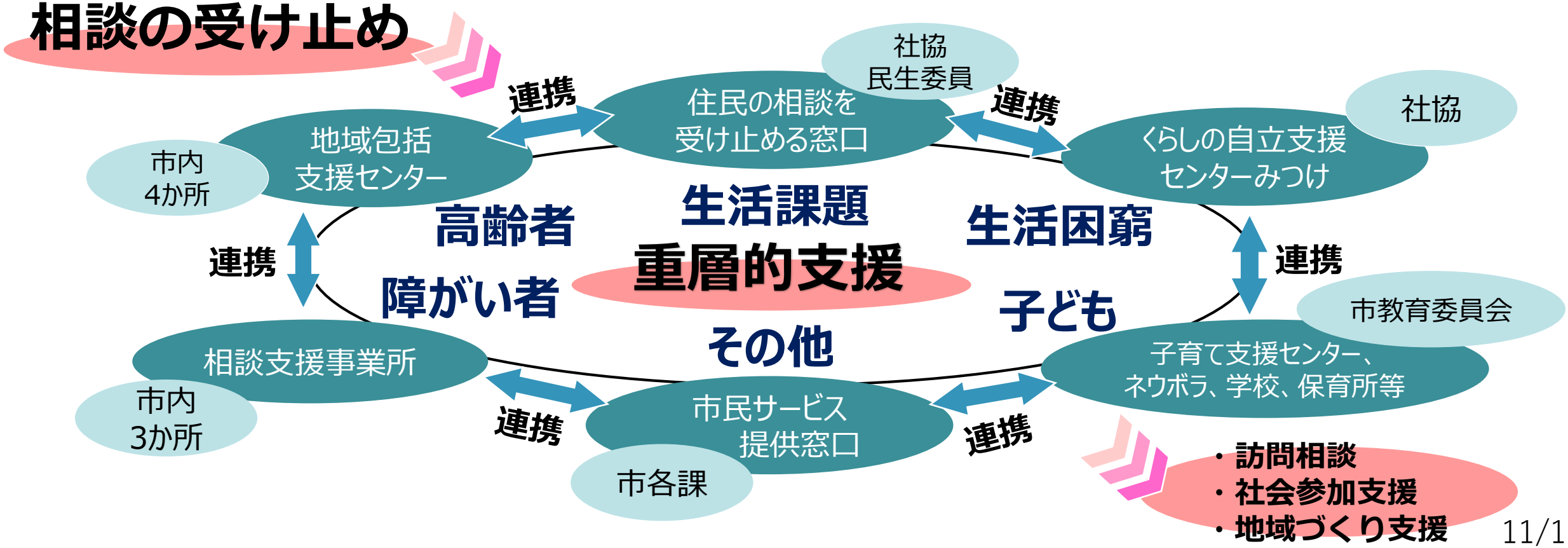
歩いて暮らせるまちづくり

▶ コミュニティバスの運行ルート見直し
▶ デマンドタクシーの利用可能エリアの拡大
▶ 見附駅舎と駅駐車場間の屋根付き連絡通路の整備

7つの柱 ③健幸づくりを支える

重層的支援体制整備事業

▶ 「8050問題」や介護と育児のダブルケアなど、課題が複雑化・複合化した困難事例を抱えた方へ対応するため、複数の機関や部署、地域で連携し、課題の解決に向けた相談支援体制を構築



7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

✓ 新型コロナ感染症や自然災害などへの備えを万全に
✓ 老朽化した施設の更新も計画的に

新型コロナウイルス ワクチン接種を進めています

医師会や県保健衛生センターに加え市外の医療法人の協力を得て、
特に集団接種（保健福祉センター、市立病院）を強化しスムーズな接種を実現

◆4回目接種の状況 （1月23日時点）

	12歳以上	うち 65歳未満	65歳以上
見附市	**67.8%**	**54.7%**	**90.7%**
県全体	**61.3%**	**45.8%**	**88.7%**
全国	**49.6%**	**33.9%**	**84.0%**

▶ **接種を推進中** オミクロン株対応ワクチン接種 ／ 小児接種 ／ 乳幼児接種

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

新型コロナに関するサポート

- ▶ 医療・介護従事者や帰省者等のPCR検査に対する補助
- ▶ 自宅療養者へ4日分程度の食料品を配送

要支援者の避難行動に対する支援

- ▶ 災害時に自ら避難することが困難な要支援者の避難経路等を含む個別計画をケアマネジャーとも連携し作成

市民の防災力向上

- ▶ 原子力災害・豪雨災害の各対応ガイドブックを最新の情報に更新し全戸配布
- ▶ 各家庭での避難のあり方の議論を促しつつ、実践的な防災訓練を実施

施設の更新

- ▶ 文化ホールの屋上改修　など

7つの柱 ⑤市民の皆様に寄り添う

✓ まちづくりの主役である市民の皆様の声を聞き、課題の解決に取り組む
✓ 市民の皆様に寄り添ったきめ細やかな市政の推進

ふれあい懇談会

- ▶ 市民の皆様と市長が直接意見交換
- ▶ さまざまなテーマや地域別（地域コミュニティ単位）で月1回を目途に開催
- ▶ 市民の皆様が考えている課題の把握と共有

◆過去の開催テーマ

2月 子育て	7月 小学生
3月 今町田園（地区別）	8月 上北谷（地区別）
4月 ニット業界	9月 高校生
5月 移住者	11月 農業従事者
6月 北谷北部(地区別)	１月 子育て

7つの柱 ⑤市民の皆様に寄り添う

住民サービス向上に向けたICTの活用

- ▶ 市役所での各種手続きの際の申請書の記入などを簡易化し「書かない窓口」を実現
- ▶ 電子申請により窓口に来なくても申請できる仕組みを導入
- ▶ ホームページでの質問自動回答システム「チャットボット」の導入

相談窓口の明確化

- ▶ 市役所のどの部署に相談したらよいかわからない際の相談先を「市民生活課 市民相談係」と明確化し周知

広報戦略の検討

- ▶ 情報を市民の皆様にしっかり届けるため、新たな手法の活用の可能性も含め広報戦略を検討

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

- ✓ 地域コミュニティやボランティア、市民活動団体の盛んな活動は見附の“強み”
- ✓ 国や県、周辺市町村、企業などを含めたあらゆる力を借り、効率的かつ効果的に施策を推進

市民活動・ボランティア活動

市民活動・ボランティア連絡協議会（みつけボラーレ）加盟団体数（R4.8月現在）

保健福祉	18	地域活動	3
まちづくり	10	国際交流	1
社会教育	5	子ども	19
文化芸術	37	科学技術	1
環境	5	**計**	**99**

※このほかにも多くの団体が活発に活動

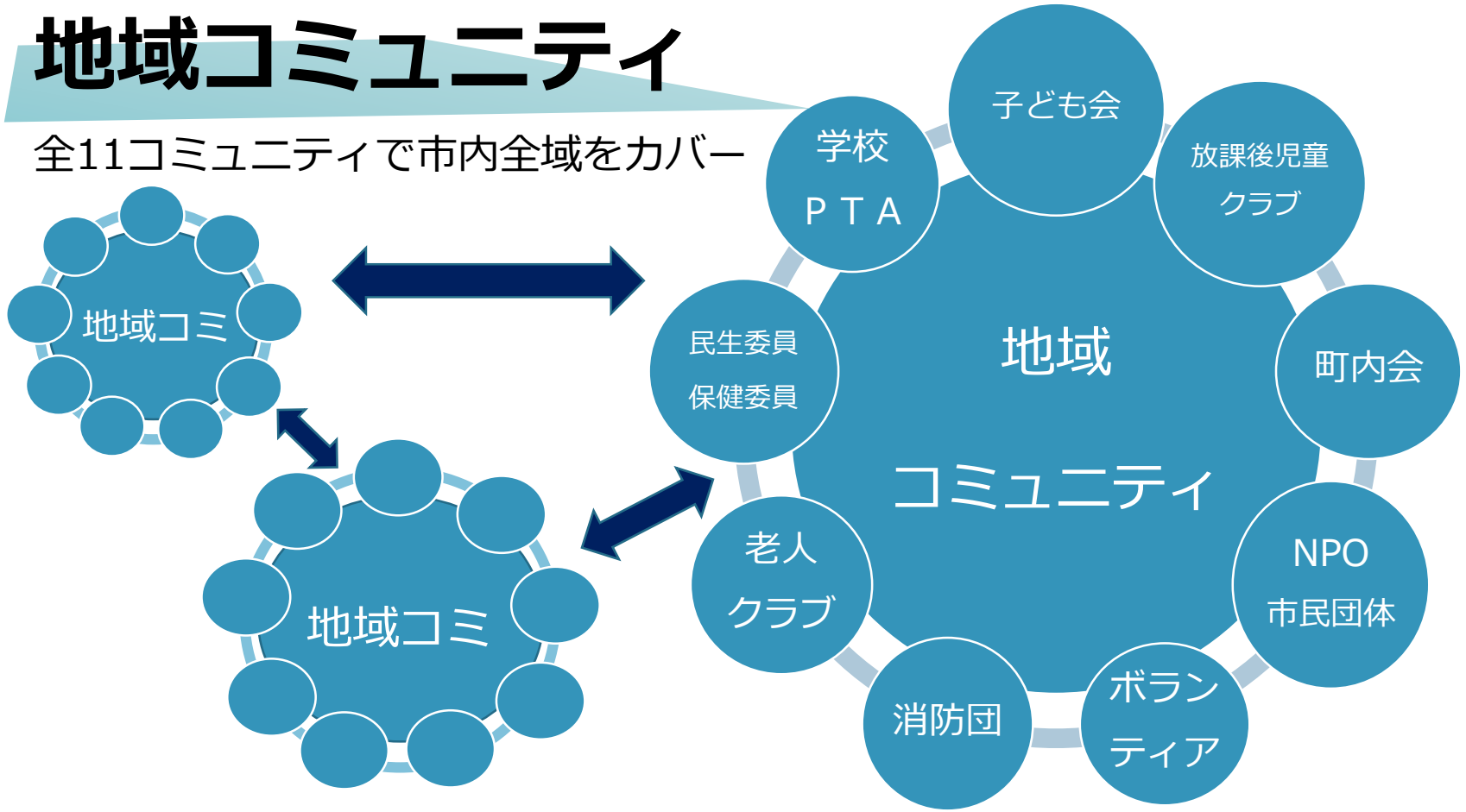
▲イングリッシュガーデンの植栽等を行う「ナチュラルガーデンクラブ」

引き続き活動を支援

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

地域コミュニティ

全11コミュニティで市内全域をカバー



▲コミュニティワゴンの運行

▲放課後児童クラブの運営

- **地域課題の解決に向けた活動に対して支援**
- **地域コミュニティ間や様々な組織との連携による さらなる活性化や効率化を検討**

7つの柱 ⑦行財政を検証し必要に応じ見直す

✓ 課題解決に向けた新たな取り組みへの予算や体制を確保するため、時代の変化も踏まえ事業の検証を実施

中長期財政計画

▶ 将来の収入見込と財政需要の今後10年間の見通しを公表
▶ 施策や事業を選択する際の判断材料、健全な財政運営の指針に

事業や施策の検証

▶ 見附駅周辺整備事業、耳取遺跡保存活用事業の各計画を検証
▶ これまで取り組んできた事業や施策を検証し、必要に応じ見直し

下水道汚水処理施設

▶ 農業集落排水の公共下水道への統合是非の検討

ふるさと納税

▶ 魅力的な返礼品の掘り起こし等、納税額増加に向けた取り組みの推進

「暮らし満足No.1のまち」を目指して
～令和4年度見附市の取り組み～

ご清聴ありがとうございました